◇地元産業界との連携事業

『天売島における地域と大学の協働による島の将来ビジョンを描くための課題解決型学習』
担当者：大貝健二（経済学部教授）
共同研究者：水野谷武志（経済学部教授），浅妻裕（経済学部教授），西村宣彦（経済学部教授），鈴木雄大（経済学部准教授）
※一般社団法人天売島おらが島活性化会議との包括連携協定に基づく協働事業の一つとして実施。

１． 連携先
一般社団法人天売島おらが島活性化会議

２． 連携事業における地域の課題及び課題解決に向けて設定した目標
天売島は，羽幌町に属する人口 300 人弱の離島である。近年は少子化・高齢化が進み，島としての打開策が必要であると考えている。島内では，空き家や空き店舗も散見されるようになり観光客に与える印象としては望ましくない。そこでこの少子化や高齢化といった課題の解決に向けて，地域の活性化を図るため，大学と当該自治体や関係団体との協働により，島の空店舗の再生・活用を通じた島の交流拠点を創出することを目指すものである。

３． 事業の内容
本事業では，離島振興の事例を参考に，学生が主体となって天売島の港に面した空き店舗の有効的な活用方法を模索し，交流人口の創出からにぎわいの創出へとつなげ，さらには関係人口の創出へとつなげていくことを実践する。具体的には，学生発案の天売島の商品の物品販売や飲食イベント等を実施する。
また，空き店舗の維持管理を通じて，学生のマネジメント能力を培うことに繋げる。

◇地元産業界と連携した実践的 PBL を含む授業科目等

『天売島における地域と大学の協働による島の将来ビジョンを描くための調査・研究』
担当者：大貝健二（経済学部教授）
共同研究者：水野谷武志（経済学部教授），浅妻裕（経済学部教授），西村宣彦（経済学部教授），鈴木雄大（経済学部准教授）
※一般社団法人天売島おらが島活性化会議との包括連携協定に基づく事業の一つとして実施。

１．　連携先

一般社団法人天売島おらが島活性化会議

２．　対象学部・学科

１部	経済学部	経済学科	２部	経済学部	経済学科
		地域経済学科			地域経済学科
１部	経営学部	経営学科	２部	経営学部	経営学科
		経営情報学科			
１部	法学部	法律学科	２部	法学部	法律学科
		政治学科			政治学科
１部	人文学部	日本文化学科	２部	人文学部	日本文化学科
		英米文化学科			英米文化学科
１部	工学部	社会環境工学科			
		建築学科			
		電子情報工学科			
		生命工学科			

３．　開講目的

天売島は，羽幌町に属する人口 300 人弱の離島であり，近年は少子化・高齢化が進み，島としての打開策が必要であると考えている。島内では，空き家や空き店舗も散見されるようになり観光客に与える印象としては望ましくない。そこでこの少子化や高齢化といった課題の解決に向けて，地域の活性化を図るため，大学と当該自治体や関係団体との協働により，島の空店舗の再生・活用を通じた島の交流拠点を創出することを目指すものである。

４．　具体的内容

本事業は，天売島が抱える高齢化や人口減少といった問題に対し，学生が連携団体等と協働し，天売島の玄関口である港に面した空き店舗の有効活用の模索と実践を通じた地域活性化による解決を図る。また，空き店舗の維持管理を通じて，学生のマネジメント能力を培う。

活動の流れは，以下のとおり。

①協議会の開催

学生と連携団体等が定期的にミーティングを行い，空き店舗の有効活用実施計画の策定，必要経費の確認。

②現地訪問

島民と交流を図り，島の観光を通じて島を知るとともに，空き店舗活用をとおした地域活性化のイメージを膨らませる。

③空き店舗活用方法に関する打合せ

随時打合せを行い，実施内容を固める。

④現地訪問，空き店舗活用事業の実施

学生発案の島の商品の物品販売や飲食イベント等の実施。